



気候変動中部広域協議会事業 2025年度下期実績

中部地方環境事務所 環境対策課



1. 下期事業実績及び予定

事業内容	開催日時/参加者数	開催地他	内容
気候変動適応ビジネス見学会 (株) FDS様見学	10月31日(金) 13:30~15:30 参加者: 10名	岐阜県高山市	『Mottainaiをモットーに新しいをつくる』を理念とし、未利用の農地・施設・食材等あらゆる地域資源に新しい価値を見出し、地域と連携しながらアップサイクルを目指していくとともに、植物工場システムと異業種を連携させ、あらゆる社会問題の解決を目指されている(株) FDS様の見学会を開催。
3 Stepsで理解する気候変動適応「勉強会」第2回三重会場	11月5日(水) 13:30~17:00 参加者/15名	三重県津市 津商工会議所 対面及びWEB	3つの企業から気候変動適応ビジネスの先行事例と海水温上昇対策とネイチャーポジティブに取り組まれている企業の事例発表を実施。
気候変動適応中部広域協議会	11月10日(月) 9:30~12:30 参加者: 68名	中部地方環境事務所及びWEB	R7年度事業実績及び下期事業説明 講演、質疑応答他
気候変動適応ビジネス見学会 三重県水産研究所	12月5日(金) 13:30~16:30 参加者: 10名	三重県水産研究所	海水温上昇に適応する真珠養殖の現場を見学
3 Stepsで理解する気候変動適応「勉強会」第3回愛知会場	令和8年1月30日(金) 13:30~17:00 参加者: 14名	中部地方環境事務所及びWEB	生活者視点で考える気候変動及熱中症対策についての講演と交流会を開催
気候変動適応中部広域協議会	令和8年2月12日 参加者: 61名	中部地方環境事務所及びWEB	R7年度事業実績及び次年度の予定について、講演、質疑応答他(予定)

1. 下期事業予定 気候変動適応ビジネス見学会

飛騨高山野菜『おおごっつお』をBon appétit!

気候変動適応ビジネス見学会

(召しあがれ!)

主催 環境省中部地方環境事務所



『Mottainaiをモットーに新しいをつくる』を理念とし、未利用の農地・施設・食材等あらゆる地域資源に新しい価値を見出し、地域と連携しながらアップサイクルを目指していくとともに、植物工場システムと異業種を連携させ、あらゆる社会問題の解決を目指している(株)FDS様の見学会を開催します。

- 見学会日：2025年10月31日(金) 13:30~15:30
- 見学会先：(株)FDS (岐阜県高山市高根町中洞767番地4)
- 募集人員：25名(先着順)
- 応募締切：2025年10月24日(金)

(株)FDS様ご紹介



(株)FDSさんの野菜工場を見学します。こちらの工場は完全密閉型のため、気候変動等による気温上昇、天候不順や病害虫に影響されことなく栽培可能なため、一年中、ミックスリーフ、ハーブ、マイクロリーフ、エディブルフラワーを各地に出荷しています。また、飛騨高山初の植物工場内で乗鞍の美味しい水を使って農業を使用せずに栽培されており、洗わずに食べられます。更なる付加価値としては、**コーシャ認証**(ユダヤ教の食事規定に準じた認定のこと)を取得しておられます。コーシャ市場は今後も拡大が予想されているため、新しいビジネスチャンスが期待されます。

※【参考】2023年の世界のコーシャ市場は、推定約1兆7500億米ドル(約262兆5000億円)で、世界全体の食品市場規模の約10%に相当。

参加者：10名

当日スケジュール

見学会日

2025年10月31日(金)

- 13:20 (株)FDS 本社前集合
- 13:30 開会あいさつ
- 13:35~14:00 FDSの取組み内容についての説明
- 14:00~15:00 野菜工場見学
- 15:00~15:30 質疑応答
- 15:30 閉会挨拶

申込方法

2025年10月24日(金)までに、以下の申込フォームよりお申込みください。
※フォームでのお申込みが難しい場合は、以下の①~④をご記載の上、事務局(chubu_adplatform@spacia.jp)までメールにてお申し込み下さい。
①参加者氏名、②参加者所属 ③連絡先メールアドレス、④希望される移動方法(貸切バス利用の有無)
複数で参加を希望される場合は参加者希望者全員の氏名、所属と代表者1名のメールアドレスをご記載をお願いします。

移動手段

ご参加される場合、移動手段を以下の二つの方法からお選び頂き、申込時にご記載下さい。

- ①JR高山駅まで公共交通機関を利用し、高山駅から貸切バス(事務局提供)を利用
- ②(株)FDSまで自家用車等を利用(高山市中心部から国道361号を経由して車で40分程度)

申込先・お問合せ先

事務局
岐阜市研究所スペースA 担当：浅野、加藤
TEL 052-242-3262 FAX 052-242-3261

E-mail: chubu_adplatform@spacia.jp

お申込みされた方には集合場所等、詳細について事務局からご連絡します。

▼申込フォームはこちら



<https://forms.gle/3AoLPueJgoJq5MM9>



1. 下期事業 気候変動勉強会 三重会場

参加者：15名

3 STEPsで 理解する 気候変動適応 「勉強会」

地方自治体の適応計画作成の支援等を目的として3回シリーズの実践的な勉強会を開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

- ◆ 定員：対面30名程度 WEB50名程度
- ◆ 第2回三重会場メット：10月31日(金)
- ◆ 第2回三重会場開催日：11月5日(水)
- ◆ 会場：津商工会議所 1F丸之内ホール 津市丸之内29-14
- ◆ 開催方法：対面及びWEB

申し込み先・問合せ先・アンケート提出先

事務局
株式会社都市研究所スペース
(浅野・加藤)
Eメール：
chubu_adplatform@spacia.jp
TEL:052-242-3262
(受付 10～17時)

第3回愛知会場

- ◆ 第3回愛知会場：1月開催

主催：環境省 中部地方環境事務所 協力 三重県

第1回8月28日(木)福井会場

①事例から学ぶ逆引き適応計画作成

「福岡大濠水から学ぶ逆引き適応計画作成」
福岡市 環境局

②データ活用による気候変動

「適応計画に役立つ簡単データマイニング」
環境省 中部地方環境事務所

【交流会】勉強会後に交流会を開催

第2回 11月5日(水)三重会場

①赤潮から真珠と海を守る

「真珠と海を守る -貝リンガルとゼロエミッションによる地域貢献-」
(株)ミキモト 真珠研究所

②気候変動適応ビジネス最前線

- 1)アート金属工業(株)
「ピンチをチャンスに変えるコーヒービジネスへのチャレンジ」
- 2)(株)FDS
「高付加価値野菜で地域振興」

【交流会】勉強会後に交流会を開催

第3回 1月 愛知会場 (案)

①生活者視点で考える気候変動

「気候危機から『日常』を守る東京の挑戦」
東京都気候変動対策専門課

②町と暑さを科学する

「町の暑さと人が感じる暑さ」
武蔵野大学工学部 教授 三坂育正 氏

【交流会】勉強会後に交流会を開催

第2回 11月5日(水) 三重会場

- 13：30：開会挨拶 三重県地球温暖化対策課
 - 13：35：「真珠と海を守る -貝リンガルとゼロエミッションによる地域貢献-」
 - 14：35：「ピンチをチャンスに変えるコーヒービジネスへのチャレンジ」
 - 15：10：「高付加価値野菜で地域振興」
 - 15：25：質疑応答
 - 16：00：交流会(対面参加者のみ)
 - 17：00：閉会挨拶
- 環境省中部地方環境事務所

①真珠と海を守る -貝リンガルとゼロエミッションによる地域貢献-

「真珠と海を守る -貝リンガルとゼロエミッションによる地域貢献-」(株)ミキモト 真珠研究所 様
赤潮発生原因の一つであるヘテロカプサの発生を検知する「貝リンガル」を開発し、その情報を三重県に提供することで企業・自治体・県民の全員参加で、英虞湾全体の真珠養殖を守る取組みや海の保護についてご発表頂きます。また排出物ゼロを目指したゼロ・エミッション型真珠養殖についてご発表して頂きます。

②気候変動ビジネス最前線

- 1.「ピンチをチャンスに変えるコーヒービジネスへのチャレンジ」 アート金属工業(株) 様
気候変動による気温上昇をチャンスと捉え、長野県上田市でコーヒー栽培に取組まれている事例についてご発表頂きます。
- 2.「高付加価値野菜で地域振興」(株)FDS 様
岐阜県高山市で完全密閉型野菜工場による高付加価値野菜を生産し、雇用創出、地域振興に寄与されている事例をご発表頂きます。

③交流会

自治体の対面参加者限定で交流会を開催します。ファシリテーターは一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター 理事長 伊香賀俊治氏

申込み方法・お問い合わせ・アンケート提出先

2025年10月31日(金)までに申込フォームからお申し込み下さい。
また、勉強会の内容についてのご質問がある場合は、同フォームにてご質問ください。
※フォームでのお申込みが難しい場合は、①参加者氏名、②参加者所属
③連絡先メールアドレス、④希望される参加方法(対面参加・WEB参加)をご記載の上、事務局(chubu_adplatform@spacia.jp)までメールにてお申し込み下さい。

※フォームのご質問の記載が難しい場合は、質問内容、質問先をご記載の上、事務局までメールにてご送付下さい。

▼申込フォームはこちら



<https://forms.gle/7nAmMxS9FGVKhAS7>

その他 Information

【アンケートへのご協力】
参加者のみなさまにアンケートフォームをお送りしますので、勉強会終了後にご回答下さい。

【会場アクセス】

近鉄津新町駅より徒歩15分
JR・近鉄津駅東口より三交バスにて三重会館バス停で下車 徒歩3分
※会場へは公共交通機関のご利用をお願いします。



1.下期事業 気候変動勉強会 三重会場 (株) ミキモト 様



3 STEPsで理解する気候変動適応「勉強会」発表資料

真珠と海を守る

—貝リンガルとゼロエミッションによる地域貢献—

株式会社ミキモト
真珠研究所

樋口恵太
郷譲治

2025年11月5日 津商工会議所

ゼロエミッション型真珠養殖

漁場環境を守る ゼロエミッション型真珠養殖



1.下期事業 気候変動勉強会 三重会場 アート金属工業（株）様



ピンチをチャンスに変える
 コーヒービジネスへの
 チャレンジ



2025年11月5日
 アート金属工業株式会社

令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰の開発・製品化部門
 (緩和・適応部門) 「気候変動アクション環境大臣表彰」

4-1 コーヒー苗木の生育

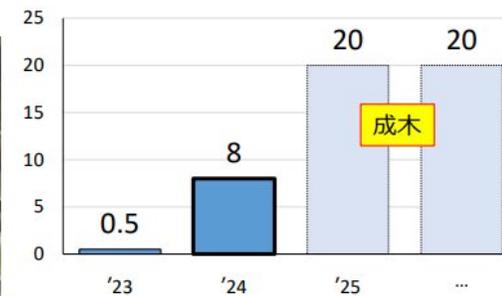


'23/6定植の苗は順調に成長→上田市のような寒冷地でもハウス内であれば生育は可能



コーヒーの実 収穫量 (kg)

農業ハウス内のコーヒー栽培の状況 (40束)



2024年度収穫量は約8kg
 成木となる今年度以降は毎年20kg

初年度の収穫は実で500g (コーヒー7杯分)

昨シーズン収穫は実で8kg

1.下期事業 気候変動勉強会 三重会場 (株) FDS 様

当資料の内容、テキスト、画像、イラストなどの無断転用・転載は固くお断りいたします。



高付加価値野菜で地域振興



JALショッピング (ECサイト)

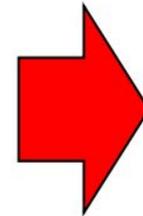
会社概要 高根植物工場

- 岐阜県高山市の使われなくなった食品加工場を完全閉鎖人工光型植物工場に改修し、**年間通じて安定した栽培**をすることで、冬場農業生産できず、過疎化の進む地域において**雇用創出や地域活性化を図る**。

BEFORE



AFTER



1. 下期事業 気候変動勉強会 愛知会場

3 STEPsで 理解する 気候変動適応 「勉強会」

地方自治体の適応計画作成の支援等を目的として3回シリーズの実践的な勉強会を開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

- ◆ 定員：対面30名程度 WEB50名程度
- ◆ 第3回愛知会場×切：1月26日(月)
- ◆ 第3回愛知会場開催日：1月30日(金)
- ◆ 会場：環境省中部地方環境事務所 1F会議室 名古屋市中区三の丸2-5-2
- ◆ 開催方法：対面及びWEB

申し込み・問合せ先・アンケート提出先

事務局
株式会社都市研究所スペース
(浅野・加藤)
Eメール：
chubu_adplatform@spacia.jp
TEL:052-242-3262
(受付 10～17時)

主催：環境省 中部地方環境事務所 協力 東京都

第1回8月28日(木)福井会場

①事例から学ぶ逆引き適応計画作成

「福岡大湯水から学ぶ逆引き適応計画作成」
福岡市

②データ活用による気候変動

「適応計画の立て方簡単データマイニング」
環境省 中部地方環境事務所

【交流会】勉強会後に交流会を開催

開催済み

第2回 11月5日(水)三重会場

①赤潮から真珠と海を守る

「真珠と海を守る -貝リンガルとゼロエミッションによる地域貢献-」
(株)ミキモト 真珠研究所

②気候変動適応計画

1)アーバンデザイン
「ビジネスと気候変動」
への取り組み

2)(株)FDS
「高付加価値野菜で地域振興」

【交流会】勉強会後に交流会を開催

開催済み

第3回 1月30日(金) 愛知会場

①生活者視点で考える気候変動

「気候危機から『日常』を守る東京の挑戦」
東京都環境局気候変動対策部
気候変動対策課 千葉稔子 氏

②地域活性化につなげる暑熱環境に適応するまちづくり

「地域活性化につなげる暑熱環境に適応するまちづくり」
武蔵野大学工学部 教授 三坂育正 氏

【交流会】勉強会後に交流会を開催

開催済み

第3回 1月30日(金) 愛知会場

- 13:30: 開会挨拶 環境省中部地方環境事務所
- 13:35: 「気候危機から『日常』を守る東京の挑戦」
- 14:05: 質疑応答
- 14:10: 「地域活性化につなげる暑熱環境に適応するまちづくり」
- 15:10: 質疑応答
- 15:20: 交流会(対面参加者のみ)
- 16:50: 講評
- 17:00: 閉会

気候危機から『日常』を守る東京の挑戦

東京都環境局 気候変動対策部 気候変動対策専門課長 千葉稔子 氏

「気候危機から『日常』を守る東京の挑戦」と題し、気候変動危機に対する東京都のお取り組み、特にステークホルダーとの連携方法、広報戦略等についてご講演していただきます。

地域活性化につなげる暑熱環境に適応するまちづくり

武蔵野大学 工学部 教授 三坂育正 氏

まちづくりから暑熱対策を考えてみましょう。暑い夏、人々は涼を求めてまちなかの涼しい場所を探し、集います。人々が集まれば、そこに賑わいが生まれ、商店やカフェなどができます。このように涼しい場所は熱中症対策のみならず、その地域の賑わいを起こし、地域活性化にもつながるものです。

交流会

自治体の対面参加者限定で交流会を開催します。ファシリテーターは南山大学総合政策部総合政策学科鶴見哲也教授。

申し込み方法・お問い合わせ・アンケート提出先

2026年1月26日(月)までに申込フォームからお申し込み下さい。
また、勉強会の内容についてのご質問がある場合は、同フォームにてご質問ください。
※フォームでのお申込みが難しい場合は、①参加者氏名、②参加者所属
③連絡先メールアドレス、④希望される参加方法(対面参加・WEB参加)をご記載の上、事務局(chubu_adplatform@spacia.jp)までメールにてお申し込み下さい。
※フォームでの質問の記載が難しい場合は、質問内容、質問先をご記載の上、事務局までメールにてご送付下さい。

▼申込フォームはこちら



<https://forms.gle/vssr2Th7qAzu2u5K9>

その他 Information

【アンケートへの協力】
参加者のみなさまにアンケートフォームをお送りしますので、勉強会終了後にご回答下さい。
【会場アクセス】
地下鉄名城線「名古屋城駅」4番出口から徒歩5分
※会場へは公共交通機関のご利用をお願いします。



参加者：14名



1. 下期事業 気候変動適応見学会 三重県水産研究所

気候変動適応事例見学会

気候変動（海水温上昇等）に抗わず、海と貝に寄り添う 三重県水産研究所見学会

主催：環境省中部地方環境事務所

三重県水産研究所では「気候変動に対応した新たな真珠適正養殖管理マニュアル」を作成し公開されています。また英虞湾における赤潮被害の軽減のため、貝リンガル（二枚貝を用いた生物センサー）の情報を真珠養殖業者に提供されています。今回はその取組みを実際の担当者の説明を交えながら現地見学できる貴重な機会です。是非海水温上昇適応の最前線をご覧ください。

- ◆ 見学会日：2025年12月5日(金)13:30~16:30
- ◆ 見学会先：三重県水産研究所 志摩市志摩市浜島町浜島3564-3
- ◆ 募集数：25名(先着順)
- ◆ お問い合わせ先：事務局 (㈱都市研究所スペースイ) Email:chubu_adplatform@spacia.jp

主催：環境省中部地方環境事務所

貝リンガル情報

(アコヤガイ・立神浦 赤崎)

測定：2023年10月24日 発行：10月25日
データ提供：㈱ミキモト
問い合わせ先：三重県水産研究所 養殖・環境研究課
TEL 0599-53-0016 FAX 0599-53-2225

【概況（10月24日 0時～10月25日 0時）】

- 測定している4層でヘテロカプサに対する反応は『なし』でした。
- 10月23日の立神浦赤崎における観測でヘテロカプサは確認されませんでした。

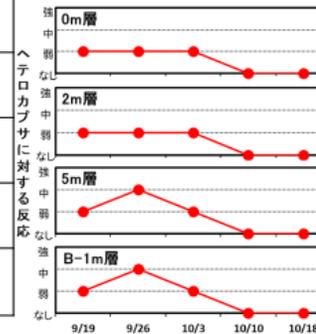
【おしらせ】

- 今号で、今期の情報提供は終了します。
- 次回は2024年5月から情報提供する予定です。

【今回の測定結果】

水深	ヘテロカプサに対する反応 ※	備考
0 m	なし	-
2 m	なし	-
5 m	なし	-
B-1 m	なし	-

【直近の状況（5回分）】



※ 指標と殻体運動（波形の例は、WEBに掲載しています。）

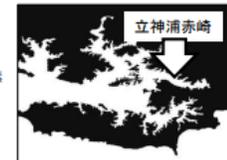
- 強**：連続的なスパイク波形と閉殻がみられる。⇒ 極度に強いストレスがあり、短時間でへい死の危険がある。
- 中**：連続的なスパイク波形がみられる。⇒ 強いストレスがあり、長く続くことと衰弱・へい死の危険がある。
- 弱**：スパイク波形の集中が時折みられる。⇒ 貝にストレスがかかりはじめる。垂下層の調整や避難の検討を。
- なし**：応答なし ⇒ 影響なし。

● **本誌について**
英虞湾における赤潮被害の軽減を目的とし、㈱ミキモトが開発した貝リンガル（二枚貝を用いた生物センサー）の情報を提供しています。
・毎週水曜日に発行します。また、臨時で発行することがあります。

● **貝リンガルについて**
二枚貝の殻体運動（殻の開閉）をセンサーで測定し、貝の生理状態（赤潮・硫酸素などの影響）を随上で把握できます。
・英虞湾では、有害プランクトンのヘテロカプサ・サーキュリスカーマの影響を特に重要視しています。（センサーは、アコヤガイにつけられています。）

● **センサーの設置場所と水深**
・海奥部（立神浦赤崎）の0・2・5・B-1m層に設置しています。
・B-1mとは海底上1mで、赤崎では約7mです。

● **利用上の注意事項**
・海況は、場所・時間・水深で異なります。本情報は湾全体のアコヤガイの生理状態を、必ずしも示すものではありません。
・本情報だけでなく「アコヤ養殖環境情報」等で、プランクトンの出現状況や海況を把握し、被害対策をしてください。



貝リンガル情報

(アコヤガイ・立神浦 赤崎)

測定：2025年10月7日 発行：10月8日
データ提供：㈱ミキモト
問い合わせ先：三重県水産研究所 養殖・環境研究課
TEL 0599-53-0016 FAX 0599-53-2225

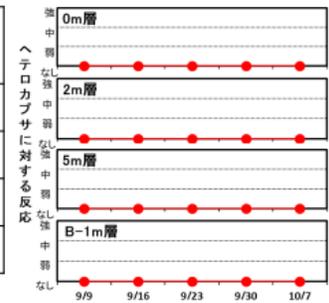
【概況（10月7日 0時～10月8日 0時）】

- 全層でヘテロカプサに対する反応は『なし』となっています。
- 10月6日の同地点でヘテロカプサは確認されていません。

【今回の測定結果】

水深	ヘテロカプサに対する反応 ※	備考
0 m	なし	-
2 m	なし	-
5 m	なし	-
B-1 m	なし	-

【直近の状況（5回分）】



※ 指標と殻体運動（波形の例は、WEBに掲載しています。）

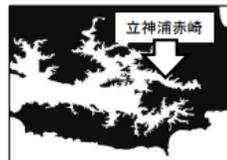
- 強**：連続的なスパイク波形と閉殻がみられる。⇒ 極度に強いストレスがあり、短時間でへい死の危険がある。
- 中**：連続的なスパイク波形がみられる。⇒ 強いストレスがあり、長く続くことと衰弱・へい死の危険がある。
- 弱**：スパイク波形の集中が時折みられる。⇒ 貝にストレスがかかりはじめる。垂下層の調整や避難の検討を。
- なし**：応答なし ⇒ 影響なし。

● **本誌について**
英虞湾における赤潮被害の軽減を目的とし、㈱ミキモトが開発した貝リンガル（二枚貝を用いた生物センサー）の情報を提供しています。
・毎週水曜日に発行します。また、臨時で発行することがあります。

● **貝リンガルについて**
二枚貝の殻体運動（殻の開閉）をセンサーで測定し、貝の生理状態（赤潮・硫酸素などの影響）を随上で把握できます。
・英虞湾では、有害プランクトンのヘテロカプサ・サーキュリスカーマの影響を特に重要視しています。（センサーは、アコヤガイにつけられています。）

● **センサーの設置場所と水深**
・海奥部（立神浦赤崎）の0・2・5・B-1m層に設置しています。
・B-1mとは海底上1mで、赤崎では約7mです。

● **利用上の注意事項**
・海況は、場所・時間・水深で異なります。本情報は湾全体のアコヤガイの生理状態を、必ずしも示すものではありません。
・本情報だけでなく「アコヤ養殖環境情報」等で、プランクトンの出現状況や海況を把握し、被害対策をしてください。



1. 下期事業 プラットフォーム及び有識者DBについて 現在制作中



- 中部広域協議会構成員のみ限定公開
- 完成後、IDとパスワードを送付
- 専門家データベースの閲覧
- テーマ別チャットルームを設置

有識者DB 項目例

- ・ 大項目
- ・ 中項目
- ・ 研究キーワード1
- ・ 研究キーワード2
- ・ 研究キーワード3
- ・ 所属1
- ・ 所属2
- ・ 役職
- ・ 氏名(よみがな)
- ・ e-mail又は電話番号
- ・ 研究室HP等の情報
- ・ 参考論文等
- ・ 参考論文概要/研究概要